

印度労働大衆、爲替クランピングの犠牲を強ひられる日本労働大衆の重大なる死活問題である。吾々は印度労働者と日本労働者の代表が此會議に參加し労働者の切實なる要求と妥當なる主張を直接發表する事を要なりと信ずる。殊に日本紡績業者の印度綿手持ち高は、來る十月を以て限界に達すべく、印度綿花の賣出しも亦十月以降にありとすれば兩者の競争は此の程を以て不舞臺に入るものと見ざるを得ぬ。その結果より來るべき労働者の犠牲と社會的損失を思ふとき我等は本問題に對して一日も等閑視するを許さず、茲に當業者の反省と考慮を促すものである。

昭和八年七月二十七日

全國労働組合同盟第三回中央委員會

三、其他——國際聯盟退盟問題起るや、社會大衆黨及び日本労働組合會議と協力して、戰爭の危機防止する立場より聯盟退盟に反對し、また、日ソ不可侵條約促進にも協力した。

(十) 政治部

(イ) 組合の政治方針

我等は、創立以來、労働者の政治的無關心乃至は政治中立を意味する『労働組合主義』には、批判的態度をとり、労働組合の大衆的政治闘争を積極的に展開せんとしてゐる。しかし、このことは、同時に労働組合と支持政黨との關係を合理化し、労働組合の職能を分化發展せしめることに對する積極

的努力なくしてはなす遂げられない。我等は、この非常時反動期にあつても、この二方面の交互關係を發展せしめるために努力して來た。

(ロ) 社會大衆黨との協力

我等は社會大衆黨に對しては積極的に協力して、その線に沿ふて、合同直後の内部事情に考慮を拂ひつゝ、黨の強化發展に努めた。我等の特に重點を置いた部分は次の諸點ある

- 1、黨の府縣聯、支部等下部組織合同の促進
- 2、労働委員會の確立と積極的活用
- 3、日本労働組合會議と黨との協力促進
- 4、勞農提携の強化促進
- 5、非常時の政治的反動に抗争して黨の階級性を昂揚すること

尙、黨の最近の問題となつた所謂轉換期政策の論議に當つては、我等は、公式主義的態度の清算には賛成するも、その政策の具體的内容に就いては批判的態度をとり、但し、この態度は組合として發表することなく、黨關係役員に於て、黨に反映せしめて、原案を修正實行に移すべき方法をとつた。我等は、昨今我國の労働組合運動の一部が稍もすれば組合主義の名にかくれて、脱黨中立的態度に走らんとする傾向を排して、黨と組合との關係を合理的ならしめ、黨との協力を有機的に發展せしめんとしてゐる。

(ハ) 選挙 闘争

本年三月より六月にかけて行はれた全國市會選舉には、東京、大阪、神戸、廣島等全國労働所在地に於てそれ／＼全勞より候補者を立て、闘争左の成績を収めた。

東京 淺沼稻次郎 (當)
岩内 善作 (落)
大阪 山口常次郎 (當)
田 萬 清 臣 (當)
河 野 勇 (落)
神 戸 松澤兼人 (當)
永 江 一 夫 (當)
丹 波 繁 正 (落)
中ノ瀬幸吉 (落)
廣 島 保 田 庄 一 (當)

この外町村會選舉には、兵庫、栃木、敦賀、高知等に於いて全國労働は相當の當選者を出してゐる。

そしてこの市町村選舉には東京、大阪、神戸を初め各町村に於いて無産階級より脱落したファアツショ分子が立候補し我々に對立挑戦したので、我々は反ファアツショカンパとして選挙闘争を戦ひ東京に於いては松谷與二郎を完全に惨敗せしめ、其他の地に於いてもファアツショを惨倒して彼等を「再起不能にまで抑詰め階級的勢力の俵力を疲弊し、労働大衆の信頼

を獲得した。

また、昨年来大東京市合併によつて、新たに區會議員選挙が全市に亘つて行はれたが、我全國労働よりは全区に闘士を立候補せしめブル候補及ファアツショ候補と尖鋭に對立し、反ファアツショ、反義の闘争をも併せて果敢に闘争多くの同志を區會に送り込んだ。

(ニ) 其 他

刻々に起る政治的時局問題に對してはその都度労働階級の立場からこれを取り上げその時の情勢に應じて階級的に處理した。また不當彈壓、檢束、拘留等に對しては内務省、司法省、警察署等に抗議糾弾した。

労働立法、社會立法の制定、惡法改廢の闘争は、社會立法對策委員會に於いて社會大衆黨、労働組合會議と協力してこれを戦ひた。